

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：北海道開発局都市住宅課
担当課長名：小田島 聖

事業名 都市計画道路3・4・199号新琴似6番通	事業区分 街路	事業主体 札幌市
起終点 自：札幌市北区新琴似12条1丁目 至：札幌市北区新琴似12条16丁目	延長 2.8 km	
事業概要 都市計画道路3・4・199号新琴似6番通は、札幌市北区新琴似地区の幹線道路である西5丁目・樽川通を補完する道路であり、バス路線として重要な役割を担う路線である。本事業では、渋滞解消やバスの定時性確保を目的とした道路拡幅整備および流雪溝整備を行うものである。		
H11年度事業化	H8年度都市計画決定 (H10年度変更)	H11年度用地着手
全体事業費 約136億円		事業進捗率 92%
計画交通量 10,000台/日		供用済延長 1.1 km
費用対効果分析結果	総費用 ：(残事業)/(事業全体) 8.9/156億円 事業費：8.5/156億円 維持管理費：0.35/0.37億円	総便益 ：(残事業)/(事業全体) 130/325億円 走行時間短縮便益：127/317億円 走行経費減少便益：3.4/8.2億円 交通事故減少便益：0.00/0.00億円
基準年 平成20年		
事業の効果等 ・公共交通利便性の向上（公共交通を支援する事業） ・歩行者、自転車のための生活空間の形成（交通バリアフリー法による道路特定事業）他2項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 慢性的な交通混雑など新琴似6通沿道環境の悪化に伴い、北区新琴似六番通り街づくりクラブや地元町内会から早期整備に対する要望（平成15年12月17日）を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成11年にJR札幌線が立体交差化され地区内交通が変化したことにより、慢性的な交通混雑が起きている状況である。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 当路線の琴似・栄町通から新琴似8丁目線の区間(L=1.1km)は、平成19年度までに整備完了し、供用している。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 新琴似8丁目線から新琴似第5横通の区間は、引き続き用地買収を進め、平成22年度に全線供用を予定している。		
施設の構造や工法の変更等 再生アスファルト合材の活用による資源循環の促進によりコストを縮減。		
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由	以上の状況から勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。	
事業概要図		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。